

## 防災・防犯対策の充実 ～緊急物資・備蓄倉庫／特殊詐欺～

### 1 事業目的

安全・安心な暮らしのために、防災・防犯対策の充実を図ります。

防災対策として、災害発生時における避難者のための飲料水備蓄や応急給水タンク、防災備蓄倉庫の更新を行います。

また、防犯対策のうち、振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害防止対策として、警察署と連携し、被害を受けるおそれのある高齢者の方へ犯罪抑止効果のある自動通話録音機の配布を行います。

### 2 防災対策の充実（緊急物資の充実・防災備蓄倉庫の整備）

#### (1) 避難者用非常用飲料水の配備

予算額 2,980 千円

災害発生時に受水槽やスタンドパイプによる応急給水や、浄水所からの運搬給水活動などの給水体制が整うまでの間の対応として、既に備蓄している帰宅困難児童・生徒用のペットボトル飲料水に加え、避難生活をされる方（想定数 26,714 人）に 1 人当たり 500ml ペットボトル 1 本分の飲料水が行きわたるよう、既に備蓄している飲料水を活用しつつ避難施設となる市立小・中学校 27 校へ備蓄します。

#### (2) 応急給水タンクの更新

予算額 659 千円

災害時に給水拠点となる浄水所から各避難施設等へ給水するために保管している 2 t タイプの給水タンクの老朽化に伴い、1 t タイプの給水タンク 2 基に更新し、より迅速で機動性のある応急給水活動が実施できるよう整備を行います。

#### (3) 田無小学校の防災備蓄倉庫の建替え

予算額 1,499 千円

田無小学校の大規模改造に伴い、老朽化している防災備蓄倉庫（防災資器材・備蓄品を保管）の建替えを行います。

### 3 防犯対策の充実（高齢者の特殊詐欺被害の防止）

#### 自動通話録音機の配布

予算額 1,361 千円

被害を受けるおそれのある市内に住所を有する高齢者世帯に 1 台、自動通話録音機を配布します。自動通話録音機は、電話機と通信回線との間に設置し、通話内容を自動的に録音するものです。

平成 29 年度は 200 台を配布予定です（東京都の補助金を活用し、費用の 2 分の 1 を市で負担）。

資料のポイント

**防災対策**

- (1) 避難者用非常用飲料水を避難施設となる市立小・中学校 27 校へ配備
- (2) 応急給水タンクの更新
- (3) 防災備蓄倉庫の建替え

**防犯対策（特殊詐欺被害の防止）**

高齢者世帯へ自動通話録音機 200 台を配布予定